

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 地区協会 審判委員会 連盟
1. 現状の概要と今後の方向性		<p>レベルの高い試合にはレベルの高い審判員が必要であることから、新潟県のサッカー及びフットサルが発展していくためにも当委員会の役割は益々重要になっている。</p> <p>県内の審判界は、2023年より国際副審が1名新たに任命され、1級審判員の昇級者も1名輩出し、その登録人数は6名となった。フットサルにおいても、1級審判員が1名、女子1級審判員が2名、1級審判インストラクターが2名登録されており、世界および国内のトップレベルの舞台で活躍することとなる。これらの成果は審判員本人の取り組みや意識、努力などはもちろんの事、のみならず審判トレセンやレフェリーアカデミー、インストラクタートレセンなどの育成・強化システムによるところも大きいと考える。</p> <p>今後は、これらの育成・強化はもちろんの事、裾野を広げる活動にも注力していきたい。各種別の委員会や技術委員会とも連携し、ユース審判員・女子審判員の普及・育成を急ぎ、取り組まなければならない課題と考える。</p> <p>また、審判インストラクターの質と量の向上を図るべく、多くの指導者に地域や日本協会主催で行われる研修会・講習会に参加するよう促し、その知見を早く広く多くの県内の指導者・審判員に共有してもらおう。</p> <p>これまでの中期目標であった2022年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 地区協会 審判委員会 連盟
2. 中期目標(2030年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審判員登録者数…(サッカー) 3800人 (フットサル) …1200人</li> <li>・ 1級審判員…(サッカー) 10人 (フットサル) …5人</li> <li>・ 2級審判員…(サッカー) 60人 (フットサル) …25人</li> <li>・ 女子1級審判員… 5人</li> <li>・ 2級審判員(女子)… 10名</li> <li>・ ユース審判員(サッカー3級)… 20人</li> <li>・ サッカー審判員指導者… 60名</li> <li>・ フットサル審判員指導者… 10名</li> <li>・ 審判員指導者研修会 3回/年</li> <li>・ ユース審判員研修会… 2回/年</li> <li>・ レフェリーアカデミー… 定期的開催(2回/月)</li> </ul>

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の 地区協会 審判委員会 連盟
3. 長期目標(2050年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審判員登録者数…(サッカー) 5000人 (フットサル) 3000人</li> <li>・ 1級審判員…(サッカー) 15人 (フットサル) 10人</li> <li>・ 2級審判員…(サッカー) 60人 (フットサル) 20人</li> <li>・ 女子1級審判員… 5人</li> <li>・ 1級審判員(女子フットサル)… 3人</li> <li>・ FIFA(サッカー)… 2人 (フットサル) … 1人</li> <li>・ サッカー1級審判員指導者… 3人</li> <li>・ フットサル1級審判員指導者… 3人</li> </ul>

NFAアクションプラン2022→2026				全体 頁中の 頁	
4. 現状分析				地区協会 審判委員会 連盟	
No.と事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1. 強化部	サッカー1級審判員10名 Jリーグ主審担当5名 Jリーグ副審担当5名	サッカー1級審判員6名	60%	信越の育成・強化→1級候補へのステップアップしていく評価基準・システムが不透明な部分が多い。	新潟県内で十分な指導を施し育てていく必要がある。→県内指導者の質の向上が必要 レフェリアアカデミーの活用
2. 県内強化	北信越強化審判員を 毎年2人づつ選出 レフェリアアカデミー	北信越強化審判員を 毎年2人づつ選出 レフェリースクール レフェリートレセン 2回/月	50%	レフェリースクール・県内審判トレセンへの参加者の減少  若手審判員が取り組みやすい環境作り	レフェリアアカデミーの活用 広報の方法（SNSの活用）
3. 育成部	北信越強化審判員を 毎年2人づつ選出 有望な若手・ユース審判員の発掘	北信越強化審判員を 毎年2人づつ選出 若手・ユース審判員の減少	80%	審判員のサッカーの理解を深める  若手・ユース審判員の減少	各種別ヘルール講習会や審判実践指導をして、将来の上級審判員を目指す若手審判員を発掘する。 審判トレセン等の回数の確保と参加者を増やすことの工夫。 3級資格者の中から昇級意欲の高い審判員の発掘
4. 指導部	サッカー1級INS 3名 サッカー2級INS 25名 サッカー3級INS 60名 フットサル2級INS 10名	サッカー1級INS 2名 サッカー2級INS 19名 サッカー3級INS 41名 フットサル2級INS 6名	66% 76% 68% 60%	指導者の質の向上  FのINSが少ない為、F4認定・3級昇級の講習会を定期的開催できない。→底辺の拡大・若手の有望な審判員の発掘が難しい。  2級審判員については、レベルアップのために割り当てる試合が少ない	インストラクター研修を定期的開催することで、指導の方針等の意識を一枚岩にしておく。  審判員と同様に指導者もサッカーの理解を深める。→技術との協調など  現役F審判員の中からINSの資格を取得してもらう。
5. 女子部	サッカー女子1級審判員 5名 サッカー女子2級審判員 5名 サッカー女子3級審判員 30名	サッカー女子1級審判員 2名 サッカー女子2級審判員 2名 サッカー女子3級審判員 12名	40% 40% 40%	底辺の拡大	フェスティバル等を利用するなど ユース男子の試合を担当させ、レベルアップを図る。女性対象の講習会を増やし資格取得しやすい環境を整える。資格取得後の活動の場として、女子県リーグを活用。
6. フットサル	フットサル1級審判員 5名 ※そのうち女性2名 フットサル2級審判員 25名 ※女性5名	フットサル1級審判員 2名 フットサル2級審判員 18名 ※女性1名	40%	3級審判員が少ない。 県トップリーグ、全日本選手権予選リーグで審判員の実力が伴わないことがある。 2級審判員が少ない。	フットサル連盟との連携  3級昇級機会の確保。各カテゴリーで昇級機会を作る。 県トップリーグで審判員を指導できる体制を作り、3級審判員の技術向上を図る  毎年2人以上の2級昇級者をやる。
事項番号と見出し	事項の中での具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

審判委員会  
連盟  
地区協会

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
1	審判委員会	2023年～2025年	各種大会の会場	審判指導	ビデオを使って分析
2	審判委員会 審判委員会 審判委員会	2023年～2025年 2023年～2025年 2023年～2025年	各種大会の会場 アルビレックスジャパンWEB等 上中下越の各地域	審判指導 レフェリーアカデミー ルール講習会・審判実技指導	ビデオを使って分析 平日・土日祝日（隔週開催） 種別対象で指導者向けに開催 チーム対象で選手向けに開催
3	審判委員会	2023年～2025年	各種大会の会場	審判指導	ビデオを使って分析
4	2級インストラクター	2023年～2025年	県協会（2～3月） 刈羽ビニアパーク（2～3月） 新潟市他（4月～10月）	3級インストラクターへの全体研修会（2～3月）  3級インストラクターによる審判員への指導	全体研修会 2級インストラクターを複数人派遣し、インストラクターやアセッサーの任務などを指導  審判員への指導 2級インストラクターが同行し、実際のゲームにおいて審判員に指導・アドバイスする
5	審判委員会	2023年～2025年 2023年～2025年	ユース年代のフェスティバル等 新潟市近郊	審判指導 女性対象審判講習会	インストラクターを派遣して実技指導し、レベルアップを図る 座学だけでなく実技も実施
6	審判委員会	2023年～2025年 2023年～2025年	県内各地域 各種大会の会場	フットサル3級審判昇級試験	各カテゴリー毎に昇級試験を開催し昇級機会増やす インストラクターを派遣して実技指導し、レベルアップを図る

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です